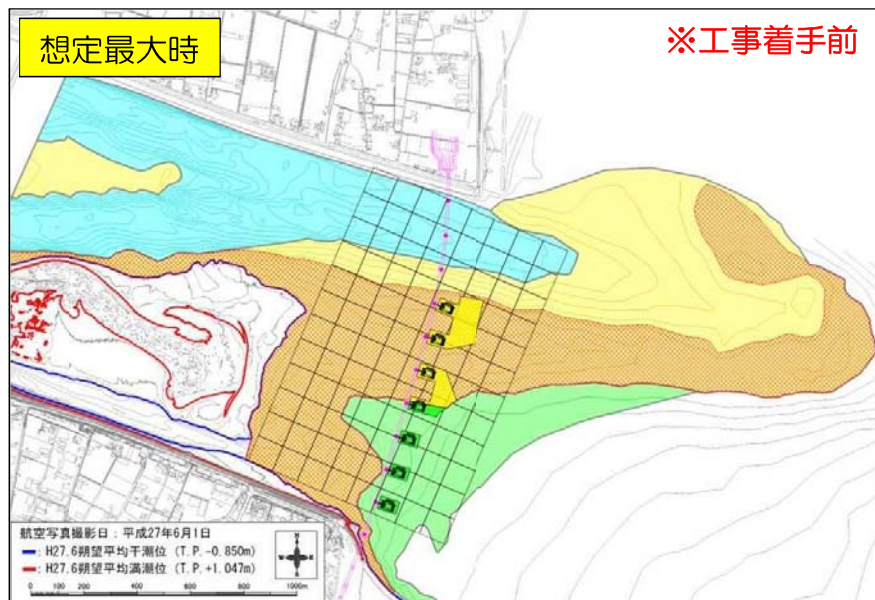


■ 浚渫の影響評価 ～区分1の指標種における影響値の比較～

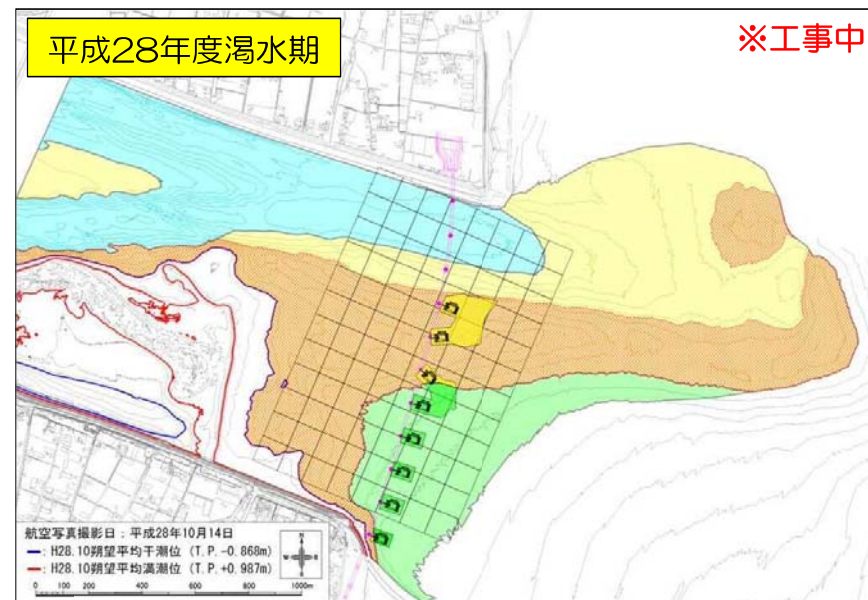


第7回検討会時に公表した浚渫の影響評価の値と比較すると、区分1の指標種において影響値は下がっていることが確認された。

■ 例：フジノハナガイの生息可能範囲（第7回検討会）



■ 例：フジノハナガイの生息可能範囲（第8回検討会）



項目	フジノハナガイ	バカガイ	ヒサシソコエビ科
	m ²	m ²	m ²
生息可能場面積	1,019,679	1,539,650	1,542,221
浚渫面積	41,056	40,289	41,056
浚渫の影響評価	4.0%	2.6%	2.7%

項目	フジノハナガイ	バカガイ	ヒサシソコエビ科
	m ²	m ²	m ²
生息可能場面積	1,004,097	1,531,993	1,612,777
浚渫面積	37,313	36,749	37,313
浚渫の影響評価	3.7%	2.4%	2.3%

影響値が減少

